

速報展

令和3年度の調査成果

発掘された遺跡

山王遺跡第231次調査状況

山王遺跡第226次調査状況

6/11(土)～7/31(日)

開館時間：午前9時～午後4時30分 休館日：月曜日（祝日を除く）・祝日の翌日 観覧料無料

会場

多賀城市埋蔵文化財調査センター展示室
〔多賀城市文化センター内〕

〒985-0873 宮城県多賀城市中央2丁目27番1号

TEL：022-368-0134

<https://www.city.tagajo.miyagi.jp/shiseki/bunkazai/index.html>



発掘された遺跡

多賀城市教育委員会では、令和3年度に25件の発掘調査を実施しました。これらの調査は個人住宅建築・宅地造成工事等に先立ち行ったものです。今回の展示では、その中から注目される調査成果を紹介いたします。また、複数年にわたり調査・整理作業を実施してきた資料も合わせて展示します。

最新の発掘調査成果に触れ、郷土の歴史への理解を深めていただければ幸いです。



山王遺跡第225次調査



山王遺跡第228次調査



山王遺跡第231次調査

山王遺跡第225・226・228・230・231次調査

個人住宅新築に伴う調査で、南宮地区の市道新田浮島線沿い及びその周辺で実施しました。この場所は、江戸時代の南宮村の一部にあたります。当時、塩釜街道両側には家並みが広がっており、町場の様相を呈していました。調査では、その時代のもと考えられる建物跡や溝跡が発見されています。特に、第225・228・230・231次調査地点は、仙台藩家臣の成田氏の屋敷が所在したとされる場所で、今回発見した江戸時代の建物跡は、成田氏の屋敷にかかわる可能性があります。



市川橋遺跡第96次調査



がほつ
瓦鉢



東西方向の道路跡



山王遺跡第214次調査

宅地造成に伴う伏石地区の調査で、平成29年度から平成31年度にかけて実施しました。多賀城南面に広がる古代の道路跡や、井戸跡・建物跡を発見しました。特に南側の区画では、9世紀後半から10世紀にかけて、園池を伴う邸宅が営まれました。園池からは仏像の一部の可能性がある木製品や、^{がほつ}瓦鉢と呼ばれる仏器が見つかります。他にもこの区画からは多数の仏教系遺物が出土しており、邸宅内に持仏堂が存在し、仏教儀礼が催されていたと考えられます。

宅地造成工事に伴う山王四区の調査で、平成31年度から令和2年度にかけて実施しました。人々の生活の跡が増えるのは、平安時代初め頃からで、畑地として利用されていました。しばらく畑作が続いた後、9世紀後半以降、東西方向の道路が作られ、その両側に掘立柱建物が立ち並び、日常生活に必要な井戸なども掘られました。このようなまち並みのようすは10世紀後半頃まで続きました。

関連企画のご案内

多賀城市遺跡調査報告会

日時 7月2日(土) 午後2時～午後3時15分

会場 多賀城市市民活動サポートセンター
3階大会議室(文化センター北隣り)

定員 30人程度

入場無料(電話による事前申込が必要)

申込期間 6月7日(火)～6月17日(金)

※定員になり次第、締め切りとなります。
予めご了承ください。

TEL : 022-368-0134



多賀城市 埋蔵文化財調査センター

- JR仙石線 多賀城駅より徒歩5分
- 三陸自動車道「仙台港北IC」より車で10分
- 三陸自動車道「多賀城IC」より車で10分